

すがわら進 News

川崎市会議員

小さな声を大きな力に

すがわら進ニュース 第165号

発行者：公明党川崎市議団
発行人：菅原進
住所：川崎市多摩区登戸3095
電話：044-933-2043
印刷所：光明印刷
(幸区塚越4-345-105)



ずっと住み続けたい「多摩区」を創りたい。
それが「すがわら進」の夢です。

平成30年 第2回
定例会(6月議会)

「すがわら進」議員は、平成30年第2回定例会の代表質問では「人生100年時代構想について」「高齢者施策」を担当。一般質問では3項目を質問しました。

代表質問の
ポイント

- 1 人生100年時代構想について／国と連携し充実と安心の社会保障制度を!
- 2 高齢者施策の充実について／介護人材のさらなる確保を!・介護ロボットについての情報発信、普及啓発を!・外国人の採用の門戸を広げよ!



● 一般質問での3項目 ●

1 人生100年時代の社会保障制度のあり方を示せ!

- 1 「すがわら進」議員は、川崎市は国の動きを見て決めるだけではなく他都市をリードし、国の政策に反映させるような取り組みを求めました。市長は人生100年時代へ向け、積極的に情報を発信していく、と答弁しました。
- 2 政府の「2040年を見据えた社会保障の将来の見通し」については人生80年時代は公的機関が個人にサービスを行い、人生100年時代は個人が自立的に生活できる社会保障制度にすべきと要望。市長は持続可能な社会保障制度の実現に向け抜本的な改革を国に求めていく、と強い意気込みを示しました。
- 3 将来の日本の社会保障制度を国は示すべきであり、財政的負担を地方に強いることなく、充実と安心の社会の実現を目指せ、と訴えました。市長は自身の社会保障制度に対する考えを示した上で、国全体で議論していくよう強く国に求めていくと約束しました。

3 魅力ある臨海部ビジョンの緑化施策に取り組み!

臨海部の緑化施策については15年前、三協興産の花澤社長(故人)が近隣の会社に協力を求め、苗木を持ち寄り緑化運動が始まりました。これをきっかけに本市では10万本植樹運動を展開。現在では100万本植樹運動に拡大しました。

この植樹運動を先例として今後の川崎発展の拠点となる臨海部全体の緑化をさらに推進し、欧米主要都市に見られるような森を形成するなど市民の憩いの公園作りを提案しました。臨海部本部長からは、ヒートアイランド現象を緩和する上からも良質な緑空間の創出を目指す、との答弁がありました。



2 多摩区のまちづくりへ具体案を提示!

- 1 「すがわら進」議員は、国際学園都市《多摩区》として区内3大学(専修大、明治大、日本女子大)に在学し在住している約700人の留学生の知的資源を生かすよう要望。さらに小田急線沿線の大学に在学する留学生にも呼びかけ地域交流を活発に推進するよう求めました。
- 2 国際観光都市《多摩区》にある「日本民家園」や「藤子・F・不二雄ミュージアム」には海外から多くの観光客が訪れている。さらに、多摩川や二ヶ領用水、生田緑地など豊かな自然を生かし積極的に外国からの観光客などを呼べるまちづくりを多摩区長に要請。区長からは一層の創意工夫を重ね質問の趣旨の実現を目指す、との答弁がありました。
- 3 登戸駅と新百合ヶ丘駅間の複々線化を強く要望。まちづくり局長からは遅くとも平成37年度に工事開始を予定しているとの回答がありました。
- 4 登戸土地区画整備事業についてユニバーサルデザイン並びにコンパクトシティとしての観点から具体的な街づくりを求めました。まちづくり局長は駅へのアクセスの利便性を高めるために、路線バスやコミュニティバスなど地域交通のさらなる充実や無電柱化を積極的に図ると約束しました。

平和

《核兵器廃絶と平和》 講演会を開催!

原爆被害者でつくる「川崎市折鶴の会」会長の森政忠雄氏が6月27日(水)に多摩市民館で核兵器廃絶に向け被爆者としての体験を通して講演。

主催者である「すがわら進」議員は次世代への平和の継承を訴えました。参加者からは「平和の大切さを心から実感できました」「改めて核兵器の恐ろしさを感じました」等の声が寄せられました。

講演する「川崎市折鶴の会」の森政忠雄会長



地域実績

長年の課題だった せき 堰1丁目の歩道を 整備!

堰1丁目の八幡堀整備工事は地域住民の長年にわたる願いでした。八幡堀りの跡地整備の要望が「すがわら進議員」に届き、早速、市の職員が現地を視察。今回の歩道整備が実現しました。

地元の皆さんは「すがわら議員には、私たちの要望にすぐに対応していただき感謝です!」と喜んでいきます。



歩道が整備され喜び日暮 淳さん(写真 左)と小林茂行さん

第3次 デンマーク視察報告《4》

2017年10月25日から11月1日の日程でデンマークを中心に北欧2ヶ国を視察。10月30日にスウェーデン第二の都市ヨーテボリ市を表敬訪問した際、ヨーテボリ市レーナ・マルム市長から就学前学校や国民高等学校など優れた教育施策の説明がありました。また、「やり直し教育」がスウェーデン教育制度の特徴ですが、「一人の大切」にする教育のあり方を学びました。



右から4人目がレーナ・マルム市長

市議会議員

すがわら進 暮らしの110番

市民相談
お気軽に!

控入室 電話：044-200-3361
自宅 電話：044-933-2043
FAX：044-933-1950

すがわら進のHPがスマホ・タブレット対応にリニューアルしました!

URL <http://www.susumu-news.com>

すがわら進のメールアドレスが新しく変わりました!

E-mail s@susumu-news.com



すがわら進の
プロフィール

●昭和22年 秋田県生まれ ●海城学園中等部・高等部、中央大学法学部卒 ●デンマークの船会社に18年間勤務 ●川崎市議会議員に5期連続当選 ●公明党党本部中小企業活性化対策本部委員、県本部副代表、川崎市議会前副議長、多摩第2支部長 ●中央大学学生会幹事・元全国協議委員会議長・学校法人中央大学前評議員 ●海城学園海原会常任幹事